

平成27年度江南市社会福祉協議会事業報告

[総括]

今現在、地域では社会的排除や孤立、生活困窮者等、福祉課題や生活課題のある人を早期に発見し、公的サービス等の活用だけでなく、既存制度では対応できない課題に対し、柔軟な社会資源の創出が必要となっています。

このような状況を踏まえ、本会は「ふくしー誰もが ㊦だんの ㊧らしの ㊨あわせを実現できるまちづくり」を核とし、地域住民や区長・町総代、民生児童委員、ボランティア組織及び福祉団体や関係機関等と協働しながら、「1. 多様な住民の参画による助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進」、「2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築」、「3. 良質な福祉サービスの提供等」、「4. 法人経営の基盤強化」の4点を重点的に展開しながら「総合支援型社協」(コミュニティソーシャルワーク)の構築を目指してまいりました。

27年度から新規事業として、市行政より「生活困窮者自立相談支援事業」を受託し、制度の狭間で生活困窮に陥っている方への相談支援を手探り状態の中で行ってきました。同じく27年度に自己判断能力が乏しい方への権利擁護として、金銭・書類管理を行う「日常生活自立支援事業」の基幹事務が小牧市社会福祉協議会から移管し、愛知県社会福祉協議会から事業を受託し利用者(契約者)の支援及び基盤体制の強化を行いました。

本会の活動指針である「第2次江南市地域福祉活動計画」に基づき、全ての人々が地域の中でいきいきと安心して暮らすことができるように、関係機関、団体等と連携・協働し、次の重点目標及び各種施策・事業の拡充に努めました。

また法人設立35周年を迎え、第16回江南市社会福祉大会を開催し、民間社会福祉事業の推進に著しい功績のあった方へ表彰又は感謝の意を表するとともに、これからの地域福祉の発展と決意を新たに大会宣言が採択されました。

[重点目標の実施状況及び成果]

1. 多様な住民の参画による助け合いと暮らしやすい地域づくりの推進

(1) 実施状況

住民参加による地域福祉の推進を図るため、民生委員児童委員協議会、区長・町総代、共同募金委員会を始めボランティア組織等各種民間団体及び福祉施設と連携し、事業の効果的な推進に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

○ふれあい・いきいきサロン(地域の生きがい・つどい場所づくり)において、27年度は新規3か所の立ち上げに寄与した。

○藤ヶ丘地区での地域づくりの支援として「ふれあいサロン藤ヶ丘」への参加や見守りボランティアの仕組みづくりに向けての話し合いに継続的に参加し、関係者との関係づくりを行う中で、自発的な見守り活動やゴミ出しボランティア等の活動が立ち上がった。

○江南市民生委員児童委員協議会「地域福祉部会」の事務局として、先進地視察研修、ふくし江南ふれあいまつりのブース出展の支援を行い、民生委員児童委員活動の社会的な認知向上の寄与に努めた。

2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築

(1) 実施状況

関係機関、団体等と連携し、社会的支援が必要な方への総合相談支援体制の充実や地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

○自己判断能力が乏しい方への権利擁護事業である、「日常生活自立支援事業」の基幹事務が移行され、事業実施者である愛知県社会福祉協議会より事業受託し、利用者への支援及び基盤体制の強化を行った。

○市行政より「生活困窮者自立相談支援事業」を受託し、生活困窮者に対する包括的かつ個別的な支援体制の構築を行った。

○地域包括ケアシステムの構築に向けて、市行政、地域包括支援センターと連携し、高齢者生きがい課の各種会議及び部会に参加し、認知症対策、地域での見守り体制等の実践及び協議を実施した。

3. 良質な福祉サービスの提供支援と福祉人材の確保と養成

(1) 実施状況

個人の尊厳を基本とし、利用者の利益を保護し、質の高いサービス提供に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

○介護保険法及び障害者総合支援法の指定訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者として、ホームヘルパー及びケアマネージャー等の人材確保及び研修を実施し、サービスの向上に努めた。

4. 法人経営基盤の強化

(1) 実施概要

経済社会情勢の変化に対応した主体的な法人経営に努めた。

(2) 成果及び今後の対応

- 27年度の事業受託等による人員の増員及び事務所の増設等、組織体制を充実した。
- 27年度から社会福祉法人新会計基準に移行し、適切な予算執行管理及び経理事務等に努めた。

[各種施策及び事業]

1. 法人運営事業

本会の法人運営の基盤強化や円滑な運営、公聴広報活動に努めた。

(1) 理事会・評議員会及び監事会開催状況

理事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
第1回 理事会 出席13名 欠席2名	5月21日 江南市民体育会館	第5号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の選任について 第6号 平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第7号 平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について 第8号 平成27年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算(第1号)について
第2回 理事会 出席15名	6月1日 江南市老人福祉センター	第9号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会会長、副会長の選任について 第10号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会顧問の選任について
第3回 理事会 出席13名 欠席1名 欠員1名	3月23日 江南市民体育会館	第1号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会特定個人情報取扱規程の制定について 第2号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会職員就業規則等の一部改正について 第3号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員の選任について 第4号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画(案)について 第5号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般収支予算(案)について

評議員会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
第1回 評議員会 出席33名 欠席7名	5月28日 江南市民体育会館	第4号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会理事及び監事の選任について 第5号 平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第6号 平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について 第7号 平成27年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支補正予算（第1号）について
第2回 評議員会 出席32名 欠席8名	3月29日 江南市民体育会館	第1号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会理事の選任について 第2号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画（案）について 第3号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支予算（案）について

監事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
監事会	5月14日 江南市老人福祉センター	・平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について ・平成26年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について
中間監査	11月26日 江南市老人福祉センター	・平成27年度江南市社会福祉協議会一般会計収支計算の中間監査について

（2）社協会員の募集

区長・町総代のご協力のもと、一般会員、特別会員、法人会員の募集に努めた。また、市内福祉施設において施設会員、その他関係団体等においては特別会員の募集に努めた。

（3）共同募金運動への協力

江南市共同募金委員会と連携し、10月1日から12月31日の共同募金運動期間に、区長・町総代のご協力のもと、戸別募金、法人募金を募った。市内学校においては学校募金へのご協力をお願いし、またボランティアのご協力により市内スーパーや江南駅等での街頭募金を行い、民間の地域福祉財源の確保に努めた。

(4) 職員衛生委員会の実施及び産業医による職員の健康管理の実施

職員衛生委員会を月1回開催し、産業医による職員面談、健康診断結果等の健康指導、衛生教育研修会の実施及び職員の労働環境の改善等の協議を行った。

産業医による職員面談：13名

衛生教育研修会：①注意すべき感染症対策について（7月）

②虐待ケースの対応について（1月）

職員の健康診断：産業医による健康診断結果の把握：（11月）

(5) 3市2町社会福祉協議会連絡協議会による連携

3市2町社会福祉協議会連絡協議会（江南市、犬山市、岩倉市、扶桑町、大口町）の緊密な相互連携により、27年度幹事社協である大口町社会福祉協議会の運営に基づき、各種情報交換及び研修に参加した。

開催日：①7月31日 ②11月26日 ③2月1日

会議名等：①会長・事務局長会議 ②第1回職員研修会 ③第2回職員研修会

(6) 尾張部社会福祉事業連絡協議会による連携

尾張部各市（23市）の社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会の緊密な相互連携により、理事として運営に参画し、各種情報交換及び研修に参加した。

開催日：①4月9日 ②4月17日 ③7月2日 ④8月27～28日

⑤9月30日 ⑥10月28～29日 ⑦2月16日 ⑧2月26日 ⑨3月1日

会議名等：①第1回役員会 ②総会 ③第1回事務局長会議 ④事務担当者先進地視察研修

⑤第2回役員会 ⑥県外視察研修会 ⑦第2回事務担当者研究協議会

⑧第2回事務局長会議 ⑨研究協議会

2. 地域福祉活動事業

地域におけるふれあい・いきいきサロンの推進、単独移動困難者への移送サービスの実施、江南市成年後見センターの適正な運営、民生委員児童委員協議会の活動に対して支援を行った。

(1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの実施

小地域（20サロン）において、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が気軽に出かけて仲間づくりを行ったり、活動等を行うことでいきいきと暮らせるための居場所づくりを実施した。

*ほのぼのサロン（H15.6～）

開催回数：月2回（第2・4金曜日）

開催場所：老人福祉センター

27年度実績：延べ871名（22回開催、平均39.5名）

*ひまわりサロン (H16. 7～)

開催回数：月1回 (第3水曜日)

開催場所：草井地区学習等供用施設

27年度実績：延べ420名 (12回開催、平均35.0名)

*古東サロン (H17. 7～)

開催回数：月1回 (第1火曜日)

開催場所：古知野東公民館

27年度実績：延べ124名 (12回開催、平均10.3名)

*3R宮田サロン (H18. 8～)

開催回数：月1回 (第3木曜日)

開催場所：宮田地区学習等供用施設

27年度実績：延べ223名 (12回開催、平均18.5名)

*菜の花サロン (H15. 4～) ※社協の支援開始はH19. 4～

開催回数：月1回 (第4木曜日)

開催場所：布袋ふれあい会館

27年度実績：延べ280名 (11回開催、平均25.4名)

*さわやかサロン (H20. 5～)

開催回数：月1回 (第3水曜日)

開催場所：古西公民館

27年度実績：延べ132名 (12回開催、平均11.0名)

*ジョイフルサロン (H20. 7～)

開催回数：月1回 (第4水曜日)

開催場所：ジョイフル江南

27年度実績：延べ430名 (12回開催、平均35.8名)

*上奈良気ままサロン (H22. 1～)

開催回数：月1回 (第2月曜日)

開催場所：上奈良公民館

27年度実績：延べ600名 (12回開催、平均50.0名)

*ふれあいサロンなごやか (H23. 4～)

開催回数：月1回 (第1水曜日)

開催場所：山王集会所

27年度実績：延べ328名 (12回開催、平均27.3名)

*生き・いき・サロン前野 (H24. 10～)

開催回数：月1回 (第2金曜日)

開催場所：前野公民館

27年度実績：延べ507名 (12回開催、平均42.2名)

*ふれあいサロン藤ヶ丘 (H25. 11～)

開催回数：月1回 (第4水曜日)

開催場所：江南団地集会所

27年度実績：延べ798名 (12回開催、平均66.5名)

*ふじの郷サロン (H26. 1～)

開催回数：月1回 (第4火曜日)

開催場所：ケアハウスふじの郷

27年度実績：延べ360名 (12回開催、平均30.0名)

*新開・ふれあいサロン (H26. 5～)

開催回数：月1回 (第2金曜日)

開催場所：新開公民館

27年度実績：延べ240名 (12回開催、平均20.0名)

*サロンいまいちば (H26. 5～)

開催回数：月1回 (第2木曜日)

開催場所：今市場公会堂

27年度実績：延べ191名 (24回開催、平均7.9名)

*サロンふじの会 (H26. 10～)

開催回数：月1回 (第4火曜日)

開催場所：宮田地区学習等供用施設

27年度実績：延べ310名 (12回開催、平均25.8名)

*サロンあじさいの会 (H26. 10～)

開催回数：月1回 (第4水曜日)

開催場所：般若町公民館

27年度実績：延べ351名 (12回開催、平均29.2名)

*小脇生きいきクラブ (H26. 10～)

開催回数：月6回 (毎週火曜日及び第2・4土曜日)

開催場所：小脇会館

27年度実績：延べ765名 (41回開催、平均18.6名)

*力長サロン（H27. 4～） ※27年度新規立ち上げ
開催回数：月2回（第2、4木曜日）
開催場所：力長公会堂
27年度実績：延べ765名（22回開催、平均34.7名）

*北山サロン（H27. 7～） ※27年度新規立ち上げ
開催回数：月4回（第1～4月曜日）
開催場所：北山公民館
27年度実績：延べ560名（48回開催、平均11.6名）

*なか般若サロン（H27. 10～） ※27年度新規立ち上げ
開催回数：月1回（第2水曜日）
開催場所：中般若会館（学供）
27年度実績：延べ100名（6回開催、平均16.6名）

（2）ふれあい・いきいきサロンスタッフ交流会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に情報交換や意見交換を目的に、交流会を実施した。

開催日：1月25日

開催場所：江南市民文化会館

内容：市内サロンの現状についての報告、グループに分かれての情報交換、意見交換

参加者：73名

（3）ふれあい・いきいきサロンスタッフ研修会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に、サロンでの課題や状況について報告し、今後の活動を円滑に進めていくことを目的に研修会を実施した。

開催日：3月9日

開催場所：江南市民文化会館

内容：①ふれあい・いきいきサロンを取り巻く状況についての報告

②サロンで活用できる介護予防プログラムの紹介

参加者：37名

（4）ふれあい・いきいきサロンガイドブックの作成

ふれあい・いきいきサロンの主旨理解や立ち上げ支援のためにガイドブックを作成し、啓発活動を実施した。

作成部数：1,000部

(5) 心に病のある方の居場所（フリースペース）づくりの実施

地域において、心に病のある方が気軽に出かけることのできる居場所である「ハートフレンズ」を行政、学識経験者、関係機関・施設・団体、ボランティアと協働体制で実施した。月1回のハートフレンズ運営委員会に参画し、個別対応や運営について協議を行った。また、空色ファクトリーがフリースペース活動として運営する「Honwaka（ほんわか）」の活動を支援した。

*ハートフレンズ（H20.4～）

開催日：毎週金曜日

開催場所：愛栄ふれあいプラザ

27年度実績：延べ1,250名（50回開催、平均25.0名）

*ハートフレンズ運営委員会

開催日：毎月第3火曜日

開催場所：江南保健所

協働機関：江南市役所、江南保健所、しらゆり・ワーク、精神障がい者江南家族会・藤花会、精神保健福祉ボランティアグループあい・愛、社会福祉協議会

*Honwaka（ほんわか）（H26.4～）

開催日：毎月第2・4火曜日及び第1・3水曜日

開催場所：老人福祉センター

27年度実績：延べ433名（44回開催、平均9.8名）

(6) 移送サービスの実施

単独移動困難者を対象に、車いす対応福祉車両にて運転ボランティアの協力を得て実施した。また運転ボランティア同士や事務局との意見交換を目的に情報交換会を実施した。

実施件数：延べ390件／年 利用者数：延べ700名／年（ヘルパー等同乗者を含む）

*運転ボランティア情報交換会

開催日：12月9日

開催場所：老人福祉センター

参加者：9名

3. ボランティアセンター活動事業

ボランティアセンターの機能強化を図り、市民のボランティア活動への理解と参加の促進に努めた。

(1) 登録ボランティアグループへの活動支援

福祉を主たる目的とした登録ボランティアグループ（16団体）の支援と情報提供及びボランテ

ィア活動保険の加入促進を実施した。

- ・当事者とボランティアグループの交流会の支援
- ・ボランティアグループの研修支援
- ・ボランティア同士の交流を図るボランティアサロンへの支援

(2) 各種ボランティア関連講座の開催

ボランティアグループの協力により、各種講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。

・点訳講習会の開催

点訳ボランティアグループたまづさ会の協力により、視覚障がい者への情報を点訳するためのボランティアを養成するために開催した。

開催日：5月13日～6月10日（計5回）

開催場所：老人福祉センター

内容：点字の基本的な打ち方について、視覚障がい者との交流

参加者：3名

・聞こえのサポーター教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記ボランティアを養成するために開催した。

開催日：①6月10日～6月24日（3回） ②10月3日～10月17日（3回）

開催場所：老人福祉センター

内容：要約筆記の基本的な方法、難聴・中途失聴者の理解、ホワイトボード作成、コミュニケーション方法等について

参加者：①5名 ②4名

・書いて伝える体験教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記を身近に感じてもらうために開催した。

開催日：7月25日

開催場所：布袋ふれあい会館

内容：要約筆記体験、難聴・中途失聴者の理解について、ホワイトボードの作成等

参加者：3名

・福祉入門講座の開催

NHK学園サークルの協力により、「福祉」をテーマに、いきいきライフを実践するための講座を開催した。

開催日：9月17日～10月15日（計5回）

開催場所：老人福祉センター他

内容：講師を招いた講演会や施設見学等の実施

参加者：33名

・社協国際婦人の会講座の開催

社協国際婦人の会の協力により、地域における隣人同士のつながりの良さを深めるために、各種講座を開催した。

開催日：①5月30日 ②6月22日 ③9月3日 ④10月14日 ⑤12月1日

開催場所：老人福祉センター他

内容：①バスハイク ②小さな交流会 ③・④押し花手帳講座 ⑤健康体操教室

(3) ボランティア相談の実施

ボランティア活動を始めたい人、ボランティアを必要としている人のコーディネートを実施した。ボランティア相談員会議を定期的で開催し、情報共有を図るとともに、出張ボランティア相談も実施しボランティア活動及び社協事業の啓発を行った

相談日時：第2・4月曜日、毎週土曜日の午後1時30分～3時30分

(4) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催

西尾張ブロック14市町村社協及びボランティア代表で組織された推進委員会として、西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会のボランティア代表及び社協職員との連携を密にしながら当日のボランティアフェスティバルを盛大に実施した。

開催テーマ：つなごう きずこう ボランティアの力 ～あなたもわたしも～

開催日：11月29日

開催場所：扶桑町文化会館、扶桑町中央公民館

内容：午 前 ボランティア団体、福祉施設紹介、スライドショー

午 後 基調講演「つなごう きずこう ボランティアの力～あなたもわたしも～」

講師 長岡利貞 氏

(5) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター運営委員による課題検討や事業報告、情報共有、意見交換等ボランティアに関わる事項についての協議を年6回開催した。

開催日：①5月16日 ②7月11日 ③9月19日

④11月28日 ⑤1月23日 ⑥3月12日

主な議題：①平成26年度ボランティア相談の実施報告について

②ボランティアセンターガイドブック作成について

③西尾張ブロックボランティアフェスティバルについて

④第7回ふくし江南ふれあいまつりの進捗状況について

⑤ボランティアセンターガイドブック作成について

⑥平成28年度のボランティアセンター関連事業について

(6) ボランティアセンターガイドブックの作成

登録ボランティアグループの活動紹介、ボランティアセンター機能等、ボランティア活動の普及啓発を目的に新規にボランティアセンターガイドブックを作成した。

作成部数：500部

(7) ボランティア活動保険の受付等の実施

ボランティア活動者及び行事に係るボランティア保険の受付及び保険請求業務を実施した。

ボランティア保険加入者：2,583名（内登録ボランティアグループ会員：327名）

(8) 備品機材の購入及び貸出業務の実施

地域福祉の向上に寄与することを目的にボランティアグループ及びサロン団体等への貸出業務を実施した。

貸出機材：①わたがし機1台 ②ポップコーン機1台

貸出実績：①6回 ②1回

4. 共同募金配分金事業

市民からの善意によって集められた共同募金に対し、本会は受配団体として、第2次江南市地域福祉活動計画の実践、地域福祉事業の実施や福祉団体への支援、福祉教育の推進、要支援者への援護等、地域福祉の推進に努めた。

また福祉的支援を必要とする方に対し、歳末たすけあい募金や市民福祉基金を活用し、金品（ギフトカード）の配布を行った。配布にあたっては民生委員にご協力いただいた。またふれあい・いきいきサロンやボランティアグループの歳末事業に配分を実施した。

【本会事業の広報および情報発信事業の推進】

(1) 機関紙「社協だより」の発行

社会福祉協議会の事業等を市民に周知し、福祉への理解と関心を高めることを目的として年6回発行した。

発行日：①4月1日号（159号） ②6月1日号（160号） ③8月1日号（161号）

④10月1日号（162号） ⑤12月1日号（163号） ⑥2月1日号（164号）

発行先：市内全戸配布

内容：平成27年度事業計画・収支予算、平成26年度事業報告・収支決算、社協会員募集のお願い、社協事業紹介、各種講座の参加者募集・事業報告、福祉関係団体に関する情報発信、ボランティアグループ同士によるインタビュー企画等。

【高齢者福祉事業の推進】

(1) 敬老会の開催

江南市と共催により敬老会を実施し、祝い品の贈呈や記念式典を行った。

開催日：9月6日

開催場所：江南市民文化会館大ホール

対象者：75歳の1, 296名に2枚1組のタオルを贈呈した。

(2) 結婚50年お祝い事業

江南市と共催により結婚50年お祝い式を実施し、祝い品の贈呈や記念式典を行った。

開催日：11月22日

開催場所：すいとびあ江南多目的ホール

対象者：結婚50年を迎えた夫婦139組

(3) 満100歳誕生お祝い事業の実施

江南市と共催により祝意を表し、祝い品の贈呈を行った

対象者：満100歳を迎えた方12名

(4) 高齢者団体への支援

江南市老人クラブ連合会や地区単位老人クラブへの団体活動支援及びスポーツ大会等の事業支援を行った。

(5) 江南認知症家族会への支援

認知症の方を介護する家族を中心とした「江南認知症家族会」の活動支援を行った。

【障がい児・者福祉事業の推進】

(1) 障がい者の余暇活動支援（青年学級）の実施

ボランティアグループ江南青年学級連絡会の協力を得て、障がい者の余暇活動を支援した。

実施日：隔月1回の日曜日

(2) 公募制障がい児・者生活支援事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に地域でボランティア・市民活動団体等が資金援助を必要としている事業を公募し助成（公募制地域活動支援事業）を行った後、特に障がい児・者の地域生活支援に対し、継続性が必要な事業の支援を行った。

助成団体件数：2件（視覚障がい者パソコン学習グループありんこ江南、NPO法人のいちご）

(3) 障がい者施設地域交流事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に江南市内の障がい者福祉施設が行う地域住民との交流を目的とした事業に助成を行い、地域における障がい者理解及び福祉施設における地域福祉推進を図ることを目的に実施した。

助成施設件数：4件（ときわ会、くるみの里、しらゆり・ワーク、たけのこ作業所）

【児童・青少年福祉事業の推進】

(1) 江南市子ども会大会における優良子ども会顕彰の実施

江南市子ども会連絡協議会より優良子ども会の推薦を受け、顕彰を実施した。

優良子ども会表彰：上奈良仲好子ども会

(2) 児童公園遊具設置・補修支援事業の実施

区で管理する遊園地（公園）において、申請のあった区に対し、遊具の新規設置や補修に必要な費用を助成した。

助成自治区：般若区、木賀東町区、中奈良区、宮後中区

(3) 子どもわんぱくキャンプの開催

ボランティアグループ江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会の協力により、青少年育成を目的として小学校4～6年生を対象とした1泊2日のキャンプ（8月）を実施した。

開催日：8月22～23日

開催場所：夕森公園キャンプ場（中津川市）

参加者：31名

【母子・父子福祉事業の推進】

(1) 母子・父子家庭の小学校入学、中学校進学及び中学校卒業生徒の激励会の実施

開催日：2月20日

開催場所：老人福祉センター

対象者：小学校入学48名　中学校入学80名　中学校卒業121名

【福祉育成援助事業の推進】

(1) 第7回ふくし江南ふれあいまつりの開催

ボランティアグループ代表を主とした「ふくし江南ふれあいまつり実行委員会」を組織し、福祉関係者、関係機関、市民活動団体等と協働しながら、多くの市民の方々への啓発、交流の場をつくり、ボランティア活動や福祉活動への理解、参加の促進を目的とし、当日は約180名の中・高校生がボランティアとして協力し、盛大に開催した。

開催日：3月6日

開催場所：市民文化会館 全館

内容：開会式セレモニー（すみれ幼稚園児による音楽演奏）、子ども映画上映会、ミニステージ企画、ボランティア活動紹介・体験コーナー、福祉施設・団体紹介コーナー、子どもの遊び場広場、地域包括支援センター紹介コーナー、模擬店、ひだまりカフェ、スタンプラリー等

来場者数：2,800人

(2) ふくし江南ふれあいまつり実行委員会の運営支援

第7回ふくし江南ふれあいまつりの開催のために組織された実行委員会への運営支援を行い、開催準備や円滑な当日運営に寄与した。

開催日：①8月8日 ②10月30日 ③12月19日 ④1月30日 ⑤2月27日
⑥3月26日

主な議題：①ふくし江南ふれあいまつりの開催要項について

②第7回ふくし江南ふれあいまつりの会場レイアウトについて

③第7回ふくし江南ふれあいまつりの運営方法、企画内容について

④第7回ふくし江南ふれあいまつりのポスター、チラシについて

⑤第7回ふくし江南ふれあいまつりの当日運営、準備について

⑥第7回ふくし江南ふれあいまつりの事業報告及び決算について

(3) 地域福祉人材育成事業の実施

登録ボランティアグループ会員同士の座談会（ボランティア×ボランティア）を継続的に実施し、社協だよりに座談会内容を掲載するとともに、地域福祉活動の人材育成の在り方について検討した。

(4) 古知野高等学校生活文化科が取り組む「学校家庭クラブ活動」の支援

古知野高等学校生活文化科が2年間かけて研究モデル事業として取り組む「学校家庭クラブ活動」において、福祉をテーマにボランティア活動及び地域貢献活動が実施できるようサポートを行った。

【福祉教育事業の推進】

(1) 江南市社会福祉協力校事業の実施

江南市内小学校10校、中学校5校、江南高等学校、尾北高等学校、古知野高等学校、愛知江南短期大学を指定し、社会福祉体験活動を中心に取り組んだ。

(2) 福祉教育プログラム開発モデル事業の実施

平成17～18年度に愛知県社協より2年間指定を受けモデル事業を実施したが、19年度より江南市社協による継続事業とし、門弟山小学校、布袋小学校及び布袋北小学校を研究モデル校に指定し、「ふくし学習」のサポートを実施した。

プログラム内容：総合的な学習の時間におけるふくし学習プログラムサポート事業

研究指定校：門弟山小学校1～6年生、布袋小学校4年生、布袋北小学校5年生

指定期間：1年間

(3) 福祉実践教室の開催

学校における福祉体験活動メニューとして、学校からの依頼を受け、講師派遣の調整を実施した。

科目及び実施回数：車いす10回、手話12回、要約筆記4回、点字12回、視覚障がい者ガイド9回、盲ろう者通訳ガイド4回、高齢者疑似体験10回、知的障がい者理解促進軽スポーツ2回

実施校及び参加生徒数：延べ13校 延べ3,540名

(4) 夏休み福祉体験学習事業（短期コースアクション事業）の実施

中学生・高校生を対象に夏休みに市内の福祉施設やボランティア活動などの福祉体験学習を実施した。

参加人数：延べ605名

(5) 子ども福祉塾の実施

小学校4～6年生を対象に車いす体験ツアーや福祉施設での当事者交流等の地域における福祉教育プログラムを実施した。

開催日：①9月13日 ②10月25日 ③11月22日 ④12月13日
⑤1月17日 ⑥2月21日 ⑦3月13日

内容：①劇から学ぶ「ふくしを探そう！」（協力者：子ども福祉塾サポーター）
②自分の心の色々な気持ちを考えよう（協力者：子ども福祉塾サポーター）
③車いすで地域を探検（協力者：くるみの里）
④お年寄りになってみよう（高齢者疑似体験）（協力者：さくら会）
⑤知的障がい者の方と交流しよう（協力者：たけのこ作業所）
⑥人形劇を演じてみよう（協力者：人形劇グループわらしべ）
⑦子ども福祉塾を振り返ろう（協力者：江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会）

参加者：22名

(6) 社会福祉士実習の実習生の受け入れ

国家資格である社会福祉士の受験資格取得のための現場実習の受け入れを行い、学生への指導、評価を実施した。

受け入れ実施校：日本福祉大学7名、鈴鹿医療科学大学1名

受け入れ日数：1名あたり10日～24日

(7) こどもフェスティバルへの参加

江南市とこどもフェスティバル運営協議会が主催したこどもフェスティバルに、江南市身体障害者福祉会聴覚部及びくるみの里の協力を得て、福祉体験ブースを開設した。

開催日：5月24日

開催場所：すいとびあ江南

内容：①手話で話そう（手話サークルあけぼの会、こけしの協力）
②車いすに乗ってみよう（くるみの里の協力）
③文字や絵で伝えよう（要約筆記サークル藤の協力）

体験者：①342名 ②202名 ③384名

(8) 介助犬PR事業の実施

社会福祉法人日本介助犬協会総合訓練センターに協力を依頼し、児童を対象に介助犬PR犬及び職員を市内小学校に招き、デモンストレーション等を実施した。

開催日：11月26日、27日、1月27日、28、29日（計5日間）

実施校：古知野東小学校（3年生115名）、古知野西小学校（2年生69名）、古知野南小学校（4年生149名）、古知野北小学校（4年生73名）、布袋小学校（4年生127名）、布袋北小学校（5年生71名）、宮田小学校（5年生141名）、草井小学校（3年生76名）、藤里小学校（5年生60名）、門弟山小学校（4年生52名）（計10校）

内容：身体障がい者補助犬等の講話、介助犬PR犬によるデモンストレーションの実施

【社会的支援が必要な方への相談・援護事業及び市民生活の支援】

(1) 無料法律相談の実施

高齢者と障がい者を対象とし、主に権利擁護を中心とした弁護士による無料法律相談を実施した。

相談件数 高齢者：23件 障がい者：3件

(2) 火事見舞金の支給

火事によって全焼及び半焼の被害があった世帯に対し見舞金の支給を行った。

支給件数：2件（半焼）

【歳末たすけあい配分金事業】

市民からの善意によって集められた歳末たすけあい募金に対し、本会は受配団体として社会的支援が必要な方への生活支援及びボランティアやふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

(1) 社会的支援が必要な方への生活支援（給付金等）

社会的支援が必要な方に対し、民生委員にご協力いただき給付金の配布、障がい者団体が実施するクリスマス会のプレゼントの配分を行った。

対象者：①知的障がい児・肢体不自由児世帯 ②要保護児童世帯 ③在宅高齢者

配分件数：①481件 ②1312件 ③695件

(2) 高齢者ふれあい食事会の開催

古知野第一地区民生児童委員のご協力をいただき、ひとり暮らし高齢者を主な参加対象とした食事会を実施した。余興では門弟山保育園の園児と交流を行った。

開催日：11月20日

開催場所：老人福祉センター

参加者数：142名

(3) ボランティアグループ及びふれあい・いきいきサロン事業への助成

ボランティアグループ及びふれあい・いきいきサロン団体が行う歳末事業へ助成を行った。

配分件数：ボランティアグループ 1件

ふれあい・いきいきサロン団体 22件

5. 福祉センター管理事業

指定管理者として江南市老人福祉センター（1階）及び江南市中央コミュニティ・センター（2階）の適切な管理・経営を実施した。

(1) 老人福祉センター（1階）の利用状況

江南市内に居住する60歳以上の方が利用でき、健康の増進や教養の向上、老人クラブ等の地域間クラブ交流により、生きがいの場をつくることを目的に、老人福祉センターの会館管理を行うとともに、利用者ニーズを把握し施設利用の改善に努めた。

区分	個人	34,479名	1日平均	139.3名	開館日数	347日
	団体	13,872名				
	合計	48,351名				

(2) 中央コミュニティ・センター（2階）の利用状況

各種コミュニティ組織による活動を活性化し、地域住民が快適で健全な日常生活が過ごせるような生活環境の整備、向上に資することを目的に中央コミュニティ・センターの会館管理を実施した。

(単位：名)

会場	第1和室	第2和室	会議室1	会議室2	講習室	実習室	計
計	6,418	5,751	9,783	8,936	7,750	12,652	50,990
1日平均	17.9	16.0	27.3	24.9	21.6	35.2	142.0

開館日数：359日

(3) 老人福祉センター健康相談実績

老人福祉センターに看護師を配置し、希望する利用者の血圧測定等を実施するとともに健康に関する相談を行った。

合計	9,420名	1日平均	27.1名	健康相談	347日
----	--------	------	-------	------	------

(4) 足腰弱らん教室の実施

原則65歳以上の高齢者を対象とした健康体操教室を自主事業として実施した。

実施日時：毎週火曜日及び木曜日（第5週を除く）9時30分～10時30分

実施場所：老人福祉センター 大広間

開催回数：91回

参加延べ人数：5,581人（1回平均 61.3人）

講師：鈴木浩樹氏（ローズ・リボン）

6. 生活支援通所事業

高齢者生活支援通所事業の受託運営を推進した。

(1) 生活支援通所事業（デイサービス）利用状況

家に閉じこもりがちな65歳以上の高齢者に対し、車での送迎を行い、生活指導や健康状況確認、趣味の活動等を実施し、生きがいのある生活を送るための支援を行った。

延べ利用者数	650名	1日平均	4.5名	開館日	145日
--------	------	------	------	-----	------

7. 訪問介護事業

介護保険法、障害者総合支援法に基づくホームヘルパーによるサービス提供及び市行政のホームヘルパー派遣事業の受託運営を実施し、利用者の地域自立生活の支援を行った。

(1) 市行政のホームヘルパー派遣事業による延べ利用者数及び派遣時間数

在宅のひとり暮らしの高齢者等で、介護保険の要介護認定で非該当（自立）と判定された方で生活上の支援が必要な方に、ホームヘルパー派遣を実施した。

利用者数	延べ 456名	派遣時間数	1,916時間30分
------	---------	-------	------------

(2) 介護保険 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業実績

介護保険の要介護の認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の利用状況

（単位：名、時間）

介護予防		介護保険		合計	
人数	派遣時間	人数	派遣時間	人数	派遣時間
454	2621:02	589	9912:06	1043	12533:08

(3) 障害福祉サービス事業 訪問介護（ホームヘルパー派遣・移動支援）事業実績

身体・知的障がい児、者及び精神障がい者の方が江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の状況。

(単位：名、時間)

ホームヘルパー派遣							移動支援		合計	
人数	派遣時間						人数	派遣時間	人数	派遣時間
	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	重度訪問	同行援護	計				
295	1421:25	1255:40	947:50	548:20	21:50	4195:05	13	39:55	308	4235:00

(4) 処遇改善事業の実施について

介護職員（ホームヘルパー）の処遇改善を実施した。

処遇改善の内容 ①賃金改善（一時金の支給 6月・12月）

②介護職員の処遇 教育、研修、職場環境等の改善

8. 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、ケアマネジャーがケアマネジメントを実施し、ケアプランの作成等の居宅介護支援を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

(1) 介護保険 居宅介護支援事業実績

介護保険の要介護認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の居宅介護支援（ケアプラン作成、ケアマネジャー業務）のサービスを利用された方の月別の利用状況です。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防	37	37	35	35	33	33	35	36	35	32	32	32	412
介護保険	101	106	104	109	105	106	109	103	98	100	103	108	1,252
計	138	143	139	144	138	139	144	139	133	132	135	140	1,664

(2) 市受託事業

◎介護保険 訪問調査事業実績（介護保険認定審査会の第一次判定資料作成業務）

・江南市 年間延べ 122件

9. 障害者相談支援センター事業

障がいのある方やその家族が、生活の中で直面する様々の課題に対する解決方法等について、相談者と一緒に考え、改善のための方法が見つけられるよう支援を行った。

(1) 江南市基幹相談支援センター事業の一部受託

江南市が設置する江南市基幹相談支援センター事業の障害児・者相談支援業務を一部受託し、障がいがあっても安心して地域で暮らせるよう、福祉サービスに関する情報提供や権利擁護に関する相談支援を行った。

○相談支援利用者：161名（障がい者157名 障がい児4名）

○支援方法 (単位：件)

訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	計
678	502	54	246	6	32	276	1,794

○支援内容 (単位：件)

福祉サービス利用支援	健康・医療に関する支援	不安解消情緒安定に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	家族関係、人間関係に関する支援	計
774	95	112	371	301	41	16	481	81	2,272

(2) 障害福祉サービス等の利用計画の作成

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障がい児・者が給付サービスを利用する際にはサービス等利用計画の作成が必要になり、障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、作成を行った。

サービス等利用計画作成実績：58件

10. 権利擁護推進事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の自己判断能力が不十分な方等が権利侵害されることなく、自らの能力に応じてできる限り地域で自立した生活が送れるよう支援を行った。

(1) 江南市成年後見センターの運営

高齢者や障がい者等の権利擁護として、江南市成年後見センターの適正な運営を実施した。

<江南市成年後見センターの事業内容及び活動状況>

低所得者層の高齢者や障がい者で身寄りがなく、自己判断能力が不十分になった方への権利擁護のための支援を行った。

- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用による相談及び手続に関する支援
- ・市長申立の事務支援
- ・法人後見人等の受任
- ・成年後見制度等の普及、利用の啓発
- ・その他センターの運営に関し、必要な事業

法人後見の新規受任	2件
後見人等業務	11件
成年後見申立の事務支援	5件
成年後見制度に関する相談	14件
後見制度の普及・啓発	4件
法人後見の受任終了	3件

(2) 日常生活自立支援事業の実施

日常生活に不安を抱え、自己判断能力が乏しい方への権利擁護として、金銭・書類管理を行う「日常生活自立支援事業」について、27年度から基幹社協であった小牧市社協から事務移管し、愛知県社協からの受託事業として、江南市内の利用者及び生活支援員への支援を行った。

利用者（契約者）数：39名 生活支援員：14名 利用件数：延べ42件

1.1. 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援制度の施行に伴い、27年度から市行政より「自立相談支援事業」を受託し、生活困窮者への包括的かつ継続的な相談支援体制の整備及び生活困窮者支援を通じた地域づくりに努めた。

(1) 自立相談支援事業実績

経済的困窮（生活保護を除く）や社会的孤立に陥っている方に対し、支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者とともに考え、自立に向けた支援を行った。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談受付	8	4	8	5	6	8	5	9	8	3	2	7	73
就労者数	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1	0	1	7

1.2. 資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、生活福祉資金制度等の相談窓口として、低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯、離職者世帯への支援を行うとともに、本会が実施する一時援護金貸付事業を通じて、生活困窮者への支援を行った。

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯への各種資金の貸付と民生委員の協力による生活指導の実施を行った。

貸付件数：なし 現在の貸付件数：60件（内 総合支援資金：28件）

相談件数：42件

(2) 一時援護金貸付事業の実施

一時的に生活費に困っている方に1万円（最高2万円）の貸付を行い、面接調査や生活指導を実施し、貸付対象者の生活状況の把握や自立支援に努めた。

貸付件数：44件 相談件数：63件

13. 市民福祉基金事業

相互扶助の高揚と寄付の啓発を図るとともに、市民福祉基金の有効な運用や活用に努めた。

寄付件数：27件

寄付金額：1,056,976円

14. 企画・広報事業

法人設立35周年記念式典として、5年に1度開催する「江南市社会福祉大会」を開催した。

(1) 表彰審査委員会の実施

本会表彰規程に基づき、民間社会福祉事業の推進に著しい功績のあった方への表彰又は感謝の意を表することを目的に表彰審査委員会を実施し、被表彰者の決定を行った。

開催日：8月7日

(2) 第16回江南市社会福祉大会の開催

開催日：11月14日

開催場所：江南市民文化会館小ホール

参加者数：331名

内容：第1部 式典

会長表彰：89名 会長感謝：74名

第2部 講演

テーマ「これまでの福祉・これからの福祉」

講師：堤 修三 氏（元厚生労働省老健局長）